

Information

山脈は20~30代、また子育て世代も活躍できる職場です！ パート職員、募集中！

仕事内容、給与、待遇など募集に関する詳細は、法人事務局までお問合せ下さい。

1. みやま工房（就労継続支援B型） 枝豆、長ねぎ、玉ねぎ、さつまいもなどの野菜作りが中心！

【募 集】職業指導員

【仕 事】利用者への農作業の指導、利用者の支援記録などの事務業務など

【勤 務】8時から17時の内の6時間から8時間（昼休憩1時間）

【休 日】土日祝日 但し、月2回程度土曜出勤あり

2. みやま工房（就労継続支援B型） 事務経験者歓迎！

【募 集】一般事務員（経理・総務全般）

【仕 事】経理、労務、庶務など総務業務全般

【勤 務】8時から17時の内の6時間から8時間（昼休憩1時間）

【休 日】土日祝日

3. ハーモニーやまなみ（グループホーム） 中抜け勤務で効率よく働けます！

【募 集】世話人

【仕 事】朝食・夕食の食事提供、衛生管理、体調管理・金銭管理、相談支援、記録等

【勤 務】朝7時から10時、夕15時から19時 計7時間 ※中抜けあり

勤務日数は月15日程度（ローテーション勤務）

令和6年度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行 特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 賢一

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO 山脈ニュース 2024.5 法人 No.250

新年度から就労継続支援B型の平均工賃月額算定式が変わりました！

今回の報酬改定では、3年に一度の大幅な見直しが行われました。全体的には障害福祉サービス事業者にとって非常に厳しい改定になりました。それはメリハリという言葉を使った障害福祉予算の抑制でした。国は障害福祉サービスに効率や成果を求め、その結果を報酬に反映させる。また、基本報酬の増額は抑制し、成果や条件付きの加算に頼った報酬の仕組みがその典型です。また、一部の障害福祉サービスでは、報酬の時間払いが導入され、4月から大きな減収を余儀なくされている事業所も増えています。更には新年度が始まる直前になっても改定の詳細が分からず、また、加算申請の様式などが出てこず、多くの事業所が新年度を迎えても年間予算の算出が出来ない状況になったり、新報酬の申請に伴う事務手続きが負担となるなどの混乱が起きました。

それでも、今回の報酬改定でひとつだけ評価できる点がありました。それは、就労継続支援B型における平均工賃月額の算定方法が変わったことです。

就労継続支援B型の基本報酬は、授産事業の収益から利用者に支払われる平均工賃月額の金額のランク付けによって基本報酬に差が付けられ、より高い平均工賃月額を達成すると高い単価の基本報酬を得ることが出来る仕組みです。まさに障害福祉サービスに対する成果主義の導入を体現した報酬体系です。そして、これまでその平均工賃月額は年間延べ利用者数を用いた算定式が使われていました。しかし、この算定式では、月の利用日数が少なかったり、あまり仕事のできず工賃の低い利用者が多いと平均工賃月額が低くなる傾向がありました。

そこで問題視されていたのが事業所による利用者抑制が起きるのではないかという懸念でした。事業所はより高い報酬を求め、通所率が高く作業的にも能力が高くて工賃を稼いでくれる利用者が欲しいと考え、そうした戦力になる利用者の囲い込み、逆に戦力にならない利用者の受け入れを断ることも起きかねないのです。

しかし、もともと就労継続支援B型サービスを利用する方々には様々な方がいます。障害特性の点で言うと、知的障害の方の利用率が9割なのに対して精神障害の方は7割程度と言われています。また、利用目的の点で言うと、事業所を職場と考え、しっかりと働き、収入を得たいと考えている方や一般企業への就職の準備の場と考えている方がいる一方、退院後のリハビリとして地域で暮らすための生活リズムを整える場と考えている方、社会から孤立しないように仲間作りをしたいと考えている方など、その受入れのふり幅の広さ、懐の広さが就労継続支援B型の特徴となっていました。それは、障害者自立支援法（現障害者総合支援法）の施行後、多くの障害者の日中活動の場（いわゆる居場所）となっていた福祉作業所が国の給付金による安定的な運営を求め、これまでの活動に一番近いと思える就労継続支援B型に移行したからです。しかし、ふたを開けてみれば、国から「高工賃」、「高工賃」と尻を叩かれる始末です（泣）

さて、今回の報酬改定では、「障害特性等により、利用日数が少ない方を多く受け入れる場合があることを踏まえ、延べ人数ではなく平均利用者数を用いる算定式」が導入されました。実際、この算定式を用いて平均工賃月額を算出すると、これまでの平均工賃月額よりも高い工賃となり、平均工賃月額ランクも1ランク～2ランクほどアップしました。多くの障害福祉サービス費が減額傾向になる中、就労継続支援B型については昨年度よりも報酬が増収する傾向にあります。これは平均工賃月額ランクが導入された当時から、事業所の利用者の囲い込みや利用者の受け入れ抑制を問題視し、多くの障害福祉関係の団体等が国に対し、「精神障害などの障害特性等を考慮して欲しい」という声を上げてきた成果と言えます。

ただ、私達は事業所の増収ばかりを喜んではいられません。これはあくまでも算定式が変わっただけの話であり、そもそも就労継続支援B型に通う利用者の収入が増えてはいません。生活保護や障害者年金の抑制など障害のある方の生活の厳しさは変わりません。そうした中、私達は障害があっても働きたいという願いに応えていかなければなりません。今みたいに利用者の工賃向上を事業所の自助努力にだけに頼っている状況を変えなければ問題の解決にはなりません。私達はこれからも国に対して声を上げていく必要があります。

麦のゆめ
レポート

しんとうふるさと公園春まつり 野外ステージコンサート♪

5月4日（土）、5日（2日）の二日間、榛東村にあるしんとうふるさと公園で春まつりが開催されました。山脈が運営する就労継続支援 B 型事業所「麦のゆめ」は、この公園内に事業所を構えていますので、榛東村商工会の皆さんと一緒に春まつりを盛り上げました。

榛東村ではゴールデンウィークに春まつり、お盆に夏まつりと年に2回、故郷である榛東村を離れている方々が里帰りした際に、故郷の良さを再認識してもらおうとの趣旨でこのイベントを実施しています。しかし、やはりコロナ禍においてしばらくはこのイベントも中止や縮小を余儀なくされていました。今回は、コロナも明け、以前と同じ規模での開催になりました。両日とも五月晴れに恵まれ多くのご家族連れの方が来園されました。

麦のゆめでは、イベント期間中、現在、推し商品となっているミニ食パンシリーズや鯉のぼりパンの販売をしました。また、5日（日）には、公園内にある野外ステージでコンサートを開催しました。8組の個性的なバンドが集まり、パフォーマンスを披露してくれました。多くの方が木陰で高原の爽やかな風に包まれ音楽を楽しむことが出来ました。

コンサート終了後、榛東村の担当の方にご挨拶にお伺いした際に、「音楽が公園内に流れているとお祭りとしてもとても雰囲気があるので、今後もお願いします」との嬉しいお言葉を頂きました。

次回、8月の夏祭りでも野外ステージコンサートを企画したいと思います。楽しみにしてください。また、秋には、以前のように山脈が中心となって、公園をお借りし「麦のゆめ感謝祭」も開催出来たらいいと考えています。こちらも楽しみに！



しんとうふるさと公園春まつり
野外ステージコンサート
2024.5.5 (sun)
しんとうふるさと公園

Schedule

10:30	The Oldman Friends Band
11:00	Haru-Mads
11:30	ポーク&マミー
12:00	Sexy Babys
12:30	N.O.B
13:00	Usoo-800
13:30	Assort Beat
14:00	アーリーとレスリー

主催 特定非営利活動法人山脈
問合せ 070-3883-4224 (山脈)



野外ステージコンサートの出演者の皆さん



The Oldman Friends Band



Haru-Mads



ポーク&マミー



Sexy Babys



NOB



Usoo-800



Assort Beat



アーリーとレスリー



次は夏まつりで
演りますよ!